



令和元年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和元年8月9日

上場会社名 株式会社アビスト 上場取引所 東
 コード番号 6087 URL https://www.abist.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 進 勝博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 島村 恒基 (TEL) 0422-26-5960
 四半期報告書提出予定日 令和元年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和元年9月期第3四半期の連結業績(平成30年10月1日～令和元年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期累計増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
元年9月期第3四半期	6,738	4.2	990	△15.1	1,013	△14.6	703	△8.3
30年9月期第3四半期	6,464	8.4	1,166	9.7	1,186	12.0	767	7.2

(注) 包括利益 元年9月期第3四半期 686百万円(△11.2%) 30年9月期第3四半期 772百万円(0.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
元年9月期第3四半期	176.85	—
30年9月期第3四半期	192.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
元年9月期第3四半期	7,382	5,888	79.8
30年9月期	7,527	5,576	74.1

(参考) 自己資本 元年9月期第3四半期 5,888百万円 30年9月期 5,576百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年9月期	—	0.00	—	94.00	94.00
元年9月期	—	0.00	—	—	—
元年9月期(予想)	—	—	—	102.00	102.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和元年9月期の連結業績予想(平成30年10月1日～令和元年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,077	3.6	1,290	△19.3	1,343	△17.1	918	△14.4	231.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	元年9月期3Q	3,980,000株	30年9月期	3,980,000株
② 期末自己株式数	元年9月期3Q	193株	30年9月期	193株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	元年9月期3Q	3,979,807株	30年9月期3Q	3,979,849株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、長引く米中通商協議の影響を受けて、経済成長が鈍化しております。今後の先行きは、依然として不透明な状況が続いております。

我が国経済においては、先行きの企業収益は、底堅い内需と輸出の持ち直しに伴い基調としては拡大傾向が続く見通しです。ただし、米中貿易摩擦の長期化や日米貿易協議における為替条項の導入への動向などの対外的要因による、企業マインドへの影響などに留意する必要があります。

当社グループが主力事業を展開する自動車業界及び自動車部品業界においては、世界的にEV普及に向けた取り組みが加速し、ものづくりの上流工程である設計開発における技術者ニーズは活況が続きました。

以上のような事業環境のもと、当社は主力事業である設計開発アウトソーシング事業における請負業務の拡大を中心に、積極的な事業推進に励んでまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は67億38百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は9億90百万円（同15.1%減）、経常利益は10億13百万円（同14.6%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は7億3百万円（同8.3%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、事業内容に即した名称にするために、「水素水製造販売事業」から「美容・健康商品製造販売事業」にセグメント名称を変更しております。この報告セグメントの名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

また、第2四半期連結会計期間より、従来の「その他」に含まれていた「不動産賃貸事業」について新たに賃貸用不動産を取得した為、資産の量的な重要性が増し、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。また、前第3四半期連結累計会計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

①設計開発アウトソーシング事業

当セグメントにおきましては、売上高は66億3百万円（前年同期比4.2%増）となり、セグメント利益（営業利益）は10億3百万円（同14.3%減）、セグメント利益（営業利益）率15.2%となりました。技術者稼働率が高水準で推移した一方、大型連休による稼働日数の減少及び従業員の待遇面での見直しにより人件費が高騰したことなどから、増収減益となりました。

②美容・健康商品製造販売事業

当セグメントにおきましては、美容商品の販売開始による売上があった一方、健康商品の新製品投入遅れにより、売上高は1億23百万円（前年同期比8.6%減）、セグメント損失（営業損失）は29百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）19百万円）となりました。

③不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、新規事業用不動産が新たに稼働したことにより、売上高は38百万円（前年同期比61.6%増）となり、セグメント利益（営業利益）は17百万円（同15.2%増）、セグメント利益（営業利益）率45.0%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は73億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億45百万円の減少となりました。これは、主に賞与の支払いにより現金及び預金が減少したことによるものです。

負債合計は14億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億57百万円の減少となりました。これは主に賞与引当金及び未払法人税等の減少によるものです。

純資産合計は58億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億12百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和元年9月期の業績予想につきましては、令和元年7月10日に公表いたしました「令和元年9月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,800,483	1,694,927
売掛金	1,187,209	1,202,851
仕掛品	34,376	66,382
原材料	17,758	32,885
その他	135,383	219,842
流動資産合計	5,175,210	3,216,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	533,387	1,270,991
土地	502,970	1,323,948
その他(純額)	599,260	701,123
有形固定資産合計	1,635,617	3,296,063
無形固定資産	77,059	186,331
投資その他の資産	638,974	682,776
固定資産合計	2,351,651	4,165,170
繰延資産	731	—
資産合計	7,527,593	7,382,060
負債の部		
流動負債		
短期借入金	50,000	50,000
未払金	564,334	573,764
未払法人税等	302,321	1,786
賞与引当金	301,825	—
その他の引当金	—	22,402
その他	243,438	268,559
流動負債合計	1,461,920	916,512
固定負債		
役員退職慰労引当金	201,914	208,326
退職給付に係る負債	273,865	289,839
その他	13,892	79,039
固定負債合計	489,672	577,205
負債合計	1,951,593	1,493,718
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,026,650	1,026,650
資本剰余金	1,016,650	1,016,650
利益剰余金	3,569,623	3,899,361
自己株式	△670	△670
株主資本合計	5,612,253	5,941,990
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,471	△25,731
退職給付に係る調整累計額	△38,724	△27,917
その他の包括利益累計額合計	△36,253	△53,648
純資産合計	5,576,000	5,888,342
負債純資産合計	7,527,593	7,382,060

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年10月1日 至令和元年6月30日)
売上高	6,464,218	6,738,693
売上原価	4,396,520	4,813,084
売上総利益	2,067,698	1,925,609
販売費及び一般管理費	901,172	934,647
営業利益	1,166,525	990,961
営業外収益		
受取配当金	2,222	7,744
受取手数料	776	861
投資有価証券売却益	18,949	15,823
その他	888	1,371
営業外収益合計	22,837	25,800
営業外費用		
保険解約損	100	2,012
開業費償却	1,645	731
その他	1,470	804
営業外費用合計	3,216	3,548
経常利益	1,186,146	1,013,213
特別損失		
事業撤退損失	67,364	—
特別損失合計	67,364	—
税金等調整前四半期純利益	1,118,782	1,013,213
法人税、住民税及び事業税	280,189	220,561
法人税等調整額	70,761	88,812
法人税等合計	350,950	309,374
四半期純利益	767,831	703,839
親会社株主に帰属する四半期純利益	767,831	703,839

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年10月1日 至令和元年6月30日)
四半期純利益	767,831	703,839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,075	△28,202
退職給付に係る調整額	11,174	10,806
その他の包括利益合計	5,098	△17,395
四半期包括利益	772,930	686,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	772,930	686,443
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	設計開発 アウトソー シング事業	美容・健康 商品製造 販売事業	不動産賃貸 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	6,337,260	103,238	23,719	6,464,218	—	6,464,218
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	31,831	—	31,831	△31,831	—
計	6,337,260	135,070	23,719	6,496,050	△31,831	6,464,218
セグメント利益又は損失 (△)	1,171,247	△19,678	14,956	1,166,525	—	1,166,525

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年10月1日 至 令和元年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	設計開発 アウトソー シング事業	美容・健康 商品製造 販売事業	不動産賃貸 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	6,603,566	96,806	38,320	6,738,693	—	6,738,693
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	26,693	—	26,693	△26,693	—
計	6,603,566	123,499	38,320	6,765,386	△26,693	6,738,693
セグメント利益又は損失 (△)	1,003,393	△29,660	17,228	990,961	—	990,961

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来の「水素水製造販売事業」の名称を「美容・健康商品製造販売事業」に変更しております。なお、この報告セグメントの名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

また、第2四半期連結会計期間より、従来の「その他」に含まれていた「不動産賃貸事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。